

第2回 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催の報告について

1 開催日時：令和2年12月7日（月） 午後6時30分～午後8時20分

2 開催場所：加古川市立青少年女性センター4階 大会議室【ウェビナー形式にて実施】

3 議 事

(1) 令和2年度1学期いじめ防止対策の取組状況に係る報告

<事務局説明>

①未然防止への取組

- 家庭への啓発（相談行動促進チラシ いじめ防止啓発チラシの配付）
- 「心の絆プロジェクト」リーフレットの配付
- いじめ防止啓発ポスターの作成
- いじめ防止啓発標語の募集

②早期発見・早期対応への取組

- 相談行動促進（自殺予防教育）研修会の実施（8月17日）
- いじめの認知件数（1学期）
 - ・小学校：141件 ・中学校：29件 ・合計：170件
- 主ないじめの様態
 - ・からかい、悪口：105件 ・暴力：19件 ・仲間外れ、無視：10件
- 主ないじめ発見のプロセス
 - ・児童生徒から：62件 ・保護者から：47件 ・アンケートから：35件

③関係機関との連携を強化した取組

- スクールサポートチームの活動状況について
 - ・第1回定例会（9月25日）
加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の概要説明及び各構成員からの報告
 - ・スクールロイヤー相談件数（1学期）：5件

④推進体制・検証体制を整える取組

- アセス推進体制の検証と支援
- ユニット別不登校対策委員会（ユニット情報交換会）の実施
- いじめ対策へのPDCAサイクルによる評価検証体制の推進

<各委員の主な助言等>

- ・相談行動促進（自殺予防教育）研修会について、具体的な事例に対して教員に何ができるか検討されており取組は評価できる。教員と児童生徒が重要なテーマについて語り合える雰囲気醸成に努めていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策等制限がある中、できることはないかと市教育委員会及び各学校が取り組んでいることは評価できる。今後、子どもたちの対人関係面において課題が出てくることも懸念されるため、注意深く見守る必要がある。
- ・各学校において、スクールカウンセラーによる支援のニーズは高いと考えている。今後、スクールカウンセラーと学校が連携できる機会を増やすための予算措置を含めて検討していただきたい。

(2) 令和2年度1学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況に係る報告

<事務局説明>

- ①いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート（まとめ）について
 - ・各評価項目について、課題点及び各学校の対応について説明
- ②学校生活に関するアンケート（アセス）の結果と取組状況について
 - ・実施状況及び実施結果について説明
 - ・アセスにおける要支援児童生徒への各小・中学校の対応について説明（聞き取りから）
- ③心の相談アンケートについて
 - ・実施状況について説明
- ④教育相談について
 - ・実施状況及び結果について説明

<各委員の主な助言等>

- ・アセスにおいて非侵害的関係の値に注目して対応するとともに、アンケートと教育相談を合わせ、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいることにより、児童生徒本人からの相談行動につながっている点は大いに評価できる。今後も苦しんでいる子どもに対して地道に対応していくことが必要である。
- ・児童生徒の支援に必要な情報共有が学年間でなされず対応が硬直化しないように、管理職を含め、教員間で適切かつ積極的に情報共有が行われるよう支援を行う必要がある。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う児童生徒へのサポート体制について

<事務局説明>

- ①不登校、学校不適應等の未然防止策等
 - ・児童生徒への心理面のサポートやアウトリーチ対応について
- ②いじめ防止対策
 - ・ネットパトロールの実施について
- ③新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった取組

<各委員の主な助言等>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な制限があった今年度を契機として、教師と児童生徒がじっくりと向き合える時間を確保するため、行事や事業の精選に取り組む必要がある。

4 第3回 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催

日時：令和3年2月16日（火）【ウェビナー形式にて実施】

内容：2学期の取組状況に係る評価検証について